

日本の山旅 2019年5月のお便り

★令和元年日本の山旅初歩きは新緑ブナの山旅で★

リピーターの皆さん、5月から新元号が開幕、今回はこれまでと違うおめでたい新時代の始まりとなりました。元号が変わる度に西暦に統一したほうが簡単で無駄がないのに、という声もありますが、この元号制は、神代の昔から日本ならではの時代の区切りなのですね。この地球上でもっとも古くから栄えてきた我が日本の誇りとして、喜んで受け入れることにしましょう。



●5月の山旅・函南原生林・ブナと照葉樹の原生林に大感動！

さて、3月から始まった日本の山旅、5月は伊豆の山旅1本のみ実施しました。伊豆の山旅オリジナルの皮小平コースは、伐場林道が車両通行止めとなったため、昨年より函南原生林コースに変更となりました。かつて「ブナ日本一の巨樹」で有名だったこの地は、ブナの主が倒れて以来人気は薄れ、今では訪れる人稀な忘れられた場所になってしまいました。しかしここには江戸時代から禁伐の森として今なお原生状態が保たれている素晴らしい森があります。巨木も混じるブナ原生林をはじめ、日本で最大級のアカガシの巨樹やケヤキの巨木群の中を周遊するコースな今なお健在、マイナーになったおかげで殆ど貸切り状態で森歩きを堪能できる桃源郷となっているのです。現在この函南原生林を歩くためには、正面口の原生の森公園口から歩くのが一般的ですが、平野ガイドは原生林周遊コースに一番近い裏口（富士箱根ランド口）まで車で乗り入れ、無駄な往復1時間をカット、もっとも効率的な歩き方を実現しました。今回の山旅では「観察の森広場」のベンチテーブルで、美しい新緑に囲まれてゆったりとランチタイムのひと時を満喫、素晴らしいブナと照葉樹の原生林の中をそぞろ歩き、皆さん大満足。伊豆高原の温泉リゾートホテルに泊まり、細野高原三筋山から天城連山と東伊豆の海の大展望に感動、天城越えでは天城旧トンネルや天城一の太郎杉など一般観光では訪れない場所をドライブ、水生地の広場で新緑の陽だまりでピクニックランチ。最近の山旅ではドライブ中に東屋やベンチテーブルのあるところで休憩タイムですが、平野オリジナルのテーブルと折りたたみチェアセットで、いつでもどこでも人のいない穴場貸切りで楽しめるようになったのは、平野ツアーならではの楽しみがまた一つ増えたというものです。今回の伊豆の山旅は、一般観光で多くの人や車でごった返す場所を避け、村の駅や東屋ペーカーリーなど、知る人ぞ知る穴場も巡る楽しいツアーとなりました。東京から一番近い2日間の山旅として皆さんに是非お勧めしたいところです。

●伊豆の山旅・新コース開拓、伊豆随一のブナ原生林とシャクナゲの名山

5月は山旅が伊豆1本しかなかったため、平野ガイドは伊豆高原の別荘（女房の姉夫婦宅！）をベースに、新コース開拓も兼ねて西伊豆の面白スポットや、かねてから気になっていた天城猿山を歩いてきました。

西伊豆ではトンボロ現象でジオパークに認定された堂ヶ島三四郎島（伊豆のモンサンミッシェル？）から西伊豆の美しい照葉樹林と海岸ドライブ、西伊豆スカイラインから達磨山などを含めた新コース（9月に予定）が完成。そして伊豆新聞の[ジオてくの楽しみ・伊豆の低山を歩く]で以前から気になっていた「天城・猿山」にはコースを変え2度足を運びました。1回目は新聞記事に書かれていた天城街道・旧大川端キャンプ場から日本杉峠～滑沢峠～小僧山～猿山へのコース。これはガイドブックにも載っておらず、まずは登山口と入口の駐車場所を見つけるのに苦労しましたが、この記事と勘を頼りに一発で発見。天城街道沿いの唯一のスペースに車を置いて、林道を5分ほど下ると旧大川端キャンプ場の跡地の端に「二本杉峠」への朽ちかけた古い道標があり、これで一安心。登山道はかなり荒れてはいるものの、しっかりと自然道で二本杉峠まで50分ほどで到達。峠に出ると、立派な東屋と「伊豆山稜線歩道」の標識・案内板があり、そこ

から滑沢峠までは幅広い整備された一般道30分ほどで到達。その少し先の[分岐三方]から小僧山～猿山にかけてがこのコースの核心部で、赤テープと地図コンパス頼りの自然道歩きとなる。[分岐三方]には「伊豆山稜線歩道」の標識があり、三蓋山から仁科峠に至る一般道が右に続いていた。目指す小僧山はそこから真西、尾根のフミアトに分け入り、階段もない柔らかな自然道、本来の山歩きの喜びに浸りながら赤テープを頼りに急登をグングン登っていく。15分ほどで尾根に出ると右に大きな三蓋山の展望地に飛び出し、そこからはゆったりとした尾根歩きとなる。ヒメシャラの混じるブナの自然林が美しい。しかし小僧山といってもかなりしつこい登りがあり、猿山までは7つほどの小ピークのアップダウンの繰り返しで、意外と手強い。また「小僧山と猿山手前の962m前衛峰付近は、頂上から直角左に折れ曲がるので要注意」とあるように、漠然とした尾根はマップ・コンパスで慎重に方向判断が必要で、猿山方向への赤テープを見落とさずに歩くことが結構難しい。コースタイム的には登り3時間ではあるが、急登のアップダウンとルートファインディングのレベルを考えると、健脚度は3+～4程度の中級者向けの歩きごたえのあるコースといえるでしょう。

この小僧山から猿山にかけての尾根にはいたるところに元気なブナの巨木が見られ、シャクナゲの大群落も天城のメインコース以上の素晴らしさ。こんなに近い伊豆にこれほど素晴らしいブナ原生林が残っているとは、猿山頂上は木々に囲まれは狭い場所でしたが、ここから南に5分ほど進むと広い尾根上のブナ林が広がり、兄弟ブナの大木付近でブナ新緑に囲まれて、ゆったりとランチと昼寝タイム1時間、悠久のひとときを過ごしました。



2回目の猿山はその10日後、シャクナゲ開花の時期に合わせて、今度は日帰りで再訪。以前、天城太郎杉林道終点に、猿山方面により近そうな山道がワサビ田の横から始まっているのを確認していたので、これが滑沢峠への道ではないかと思い、山道に入る。この辺りは個人のワサビ田が沢沿いに作られていて、登山標識など何もない。作業道らしき道を20分ほど登っていくと、初めて「滑沢峠へ」という看板が左手の登山道を指していた。「やはりこの道が正しかった、これで滑沢峠へ行ける。」と喜び、やっとワサビ沢を離れて古い登山道を登って行った。およそ50分ほどで前回訪れた滑沢峠に到着。やはり思った通り二本杉峠からよりも往復1時間は短縮という感じだ。ただし、途中のワサビ沢の道は作業道が入り乱れ間違いやすく、その後の山道は全く整備されず、一部崩壊や不明瞭な箇所もあり、二本杉峠からのコースよりも手強い、こちらはやや健脚グループ向けといえそうだ。その代わりに、自然道の山歩きとしては遥かに面白い。

小僧山から猿山のかけは、前回は蕾だった天城シャクナゲが一斉に咲き誇り、やはりここは天城シャクナゲの大穴場であることを実感。花もいいが、それ以上に新緑のブナ原生林の美しさは格別、周囲の新緑を眺めながら、再び一番のお気に入りスポット・兄弟ブナ広場でたった一人大自然貸切りでランチ＆昼寝タイムをたっぷり楽しみ、往路を戻りました。

私は2回の猿山探策で、天城猿山の素晴らしさを再確認、確信したのでした。春はシャクナゲに合わせて5月中旬以降がベストで、秋11月初旬の紅葉も最高級、これからは年に最低2回は山旅ツアーを作ろうと思います。東京から一番近いブナの山旅新コース、大いに期待ください。

●新緑の季節到来、山歩き、森歩きのパストシーズンが始まります。

そろそろ5月も終わり、6月からはいよいよ東北・ブナの山旅シリーズが始まります。山の雪も解け、新緑の淡い緑の葉が木々を覆う中、緑のシャワーを浴びながらブナ森を歩く期待感に胸躍らせる今日この頃です。

ブナを中心とした広葉樹を有する日本の山の新緑は、この地球上で一番美しい日本ならではの大自然の素晴らしさといえるでしょう。日本に住む我々はこのことを再認識して、一年で最も生命力溢れるこの季節、新緑を求めてどこか歩かなければ本当にもったいないですよ。東北ブナの山旅シリーズは山の雪が解ける6月から始まります。6月は既に決定ツアーは4本ありますが、残席ありのコースもありますので、まだ6月予定のない人は大至急ブナ森歩きを予定を立てましょう。

◆ 6月の山旅：東北ブナの山旅 ◆

東北のブナ原生林が1年で最も生命力に溢れるのは新緑の季節。世界一美しい日本のブナ原生林の新緑は、1年に一度以上見に行かなければもったいないですね。平野ガイドと一緒にブナの森を歩き、巨木に触れ、大なる大自然のパワーを吸収して元気をもらいましょう。



■ 玉原高原ブナ林・鹿又山と尼ガ秀山、玉原湿原周遊

関東で一番近いブナ林、新緑の山旅、高原の宿水芭蕉

- 6月7日(金) ②10月25日(金) 発 2日間 ★健脚度：3
- 現地参加料金：¥39,000 (上越新幹線上毛高原駅集合・解散)

☞首都圏から一番近いブナ林・玉原高原を、高原の宿に1泊してゆとりを持って歩きます。玉原湿原を取り巻く2つの山とブナ林の見どころを、2日間に分けてじっくりと歩きます。車道歩きやスキー場コースを極力避けて、自然道を歩けるコース巡りを考えました。

①上毛高原駅(8:54着)＝玉原高原センターハウス…玉原湿原入口…△尼ガ秀山…長沢三角点…ブナ平…センターハウス(周遊約3時間30分)＝高原の宿水芭蕉【泊】②＝鹿又山南登山口…△鹿又山…ブナ平…センターハウス(周遊約4時間)＝上毛高原駅(18:25発)

☞3名で実施決定、ゆったり歩き希望者残席3あり、締切は5月30日!

▼ブナの名山を平野流コース巡りでベストスポットをゆったりと周遊▼

★6月14日発2日間急募! 前のツアーが催行のため2名から実施。レベルに応じて健脚度2のゆったりコースも可能です。

■ 鍋倉山・巨木の森と天水山ブナの森、カヤノ平ブナ原生林

信越トレイルのブナ林ベストスポットを巡る、新緑の山旅 2日間

- 6月14日(金)発 2日間 ★健脚度：2-3
- 現地参加料金：¥42,000 (飯山駅集合、越後湯沢駅解散)

①飯山駅(9:43着)＝鍋倉山登山口…巨木の谷…△鍋倉山…△黒倉山…茶屋池(約3時間30分)＝戸狩温泉【四季彩の宿かのえ泊】②＝天水山松之山登山口…ブナ林…△天水山(往復約3時間)＝越後湯沢駅

■ 真屋山地・真屋ブナ原生林悠々の森と大空の滝 ゆったり山旅

真屋岳山麓のブナ指標林・手つかずの森で悠々のひとときを

- ①6月17日(月) ②10月15日(火) 発 2日間 ★健脚度：2-2+
- 現地参加料金：¥43,000 (盛岡駅集合・新花巻駅解散)

真屋岳中腹には周辺随一のブナ原生林が広がっています。真屋岳頂上まで無理して行かず、途中のブナ巨木の森で憩い、ブナ指標林中の、手つかずのブナ原生林の中、平野ガイドが見つけた原生林ルートを周回します。今では訪れる人も殆どいない静寂の原生林の中でゆったりとくつろぎます。翌日は原生林ドライブ[なめとこライン]大空の滝入口から、歩きやすいほぼ水平の旧林道(車通行止め)の遊歩道を大空の滝展望台へ。滝の落ち口まで往復の後、新緑のブナ原生林を眺めながらランチタイムを楽しみます。

①盛岡駅(10:00頃集合)＝沢内村＝真屋岳兎平登山口…真屋ブナ指標林入口…ブナ原生林内周遊…登山口(計約2時間30分)＝南花巻温泉【ホテル志戸平泊】②＝なめとこライン＝大空の滝駐車場…大空の滝展望台…滝下部(往復約3時間)＝宮沢賢治記念館(賢治の森～童話村散歩約40分)＝東和温泉(入浴休憩各自)＝新花巻駅(17:00頃着)

*希望によっては2日目：女神山ブナ森周遊コースに変更も可能です。

☞2名で実施決定。残席4あり、締切は6月3日!

▲これまで和賀・真屋岳コースをすでに歩いた人も多いと思いますが、この<真屋ブナ悠々の森>は昨年平野ガイドが完成させた新コースです。真屋岳コースの手前にある<ブナ指標林>は今では訪れる人も殆どいないブナ森の別天地、究極のゆったりブナ森歩きを大自然貸切りで楽しめる平野ガイドイチオシのスポットです。

■ 真屋山地・真屋ブナ原生林悠々の森～兎平、女神山

真屋岳山麓のブナ指標林・手つかずの森を平野ルートで

- 6月19日(水)発2日間 ★健脚度：2-3
- 現地参加料金：¥43,000 (盛岡駅集合・新花巻駅解散)

☞真屋岳中腹には周辺随一のブナ原生林が広がっています。真屋岳頂上まで無理して行かず、途中のブナ巨木の森で憩い、兎平ピークでランチタイムをのんびりと楽しみます。帰路、ブナ指標林に立ち寄り、手つかずのブナ原生林の中、平野ガイドが見つけた原生林ルートを周回します。今では訪れる人も殆どいない静寂の原生林の中でゆったりとくつろぎます。

これまで利用していた沢内銀河高原ホテルが営業休止のため、南花巻温泉ホテル志戸平にアップグレード、快適設備と爽快な溪流露天風呂を満喫します。翌日女神山では、ブナ原生林の中、白糸の滝や降る滝などの美しい滝に立ち寄りながら、県境尾根を周遊します。

①新花巻駅(9:49着)＝沢内村＝真屋岳兎平登山口…△兎平ピーク…真屋ブナ指標林入口…ブナ原生林内周遊…登山口(計約4時間)＝南花巻温泉【ホテル志戸平泊】②＝相沢林道終点女神山登山口…白糸の滝…△女神山…県境尾根…ブナ見平…降る滝…登山口(周遊約3時間20分＝ホテル(入浴休憩)＝盛岡駅(17:00頃着) ☞5名グループで貸切り実施決定。

▼以下、ブナの山旅3コースはいずれも日本で第一級のブナ原生林を有する山域で、平野ガイドオリジナルの一味違う巡り方でブナ森の魅力を最大限に味わえる特選コースです。以前歩いた人にも、また何度歩いても世界一のブナ原生林から新鮮な感動の得られるブナの山旅ベスト3です。

■ 新緑の南八甲田・赤沼ブナ原生林と雛岳、薦の森

八甲田山麓一のブナ原生林と奥入瀬ナ巨木・森の神、新緑の季節に

- 6月21日(金)発3日間 ★健脚度：2-3
- 現地参加料金：¥65,000 (新青森駅集合・解散)

☞前のツアーが決まっているので2名から実施可能、定員6名

■ 新緑の白神山地と十二湖、岩木山黒森・巨木の森逍遥

高倉森とニツ森、岩木山一のブナ原生林、十二湖アカショウビンの季節に

- 6月24日(月)発 3日間 ★健脚度：2～3
- 現地参加料金：¥65,000 (新青森駅集合、東能代駅解散*)

☞岩木山周辺最大のブナ原生林が広がる「巨木の森」～黒森を巡る平野オリジナルのブナ森歩きスペシャル。3名から実施可能、定員6名

■ 新緑の森吉山とノロ川ブナ原生林、竜が森

花の名山・森吉山をゴンドラ利用で周遊、山麓随一のブナ原生林

- 6月27日(木)発3日間 ★健脚度：2～3
- 現地参加料金：¥65,000 (大館能代空港集合・盛岡駅解散)

☞いずれも3名から実施、グループ貸切り可能です。定員6名

◆ 7月の山旅：爽やかな北の大地・北海道・花の山旅へ ◆

7月以降の山旅は今のところ決定ツアーはありません。最近の日本の山旅は、以前のように年間すべてのホテル予約をしておらず、ある程度決まってからの手配となります。なので以前のように間際の予約ではホテルも取れないこともあり、また航空券の早割や新幹線予約も早めが必要ですので、まだ先のことのんびりせず、今から大至急楽しい山旅プランを練りましょう。ご希望その他何なりとご連絡下さい。

7月は北海道、東北花の山旅ベストシーズンです。最近北海道ツアーがなかなか集まらず、この2年間は催行していません。少人数実施のため、遠方の北海道ツアーは最低2本のツアーが連続しないと催行が難しく、各4～6名での実施となります。現在、[利尻礼文ゆったり山旅]に2名の希望があり、あと4名以上で実施見込みとなります。他の2コースはいずれも3名以上のグループ貸切りも可能なので、お仲間を集めてスツラの北海道山旅を実現しましょう。

■アポイ岳とオロフレ山、花と展望の山旅、癒しの登別温泉

三陸の山旅その2…平庭高原・日本一の白樺林と静寂のブナ原生林

●7月4日(木) 3日間

★健脚度：2~3

●現地参加料金：¥72,000(帯広空港集合、新千歳空港解散)

⇒日高山脈最南端・高山植物の宝庫として人気のアポイ岳。麓のアポイ山荘をベースに往復。登別の名山・オロフレ山を加えた花と温泉ゆったり山旅。オロフレ山ではシラネアオイの大群落が丘巻、登別一の大温泉浴場も楽しみます。①帯広空港＝襟裳岬(遊歩道散歩と名物襟裳ラーメン、各自)＝様似・観音山公園展望台＝アポイ山荘【泊】②＝アポイ岳登山口…△アポイ岳(往復約4時間30分)＝登別東IC＝登別温泉【第一滝本館泊】③＝オロフレ峠…△オロフレ岳(約2時間30分)＝新千歳空港

■黒松内岳と歌才ブナ林、目国内岳 3日間

北限のブナ林とニセコ・花の名山、歌才自然の家と昆布温泉

●7月7日(日) 3日間

★健脚度：3

●現地参加料金：¥72,000(新千歳空港集合・解散)

⇒北限のブナ」として有名な「歌才の森」とブナ原生林に囲まれた黒松内岳。黒松内の自然に囲まれた歌才自然の家とニセコ昆布温泉に泊まり、花の名山・目国内岳をプラスした道南ブナと花と温泉の山旅復刻版です。①新千歳空港(10:00頃集合)＝黒松内IC＝黒松内＝歌才の森・北限のブナ林(約1時間30分)＝黒松内【歌才自然の家泊】②＝黒松内岳登山口…515mコル…△黒松内岳(往復約3時間30分)＝ニセコ昆布温泉【ホテル甘露の森泊】③＝新見峠登山口…△前目国内岳…△目国内岳(往復約3時間40分)＝昆布温泉(入浴休憩)＝支笏湖＝新千歳空港(18:30発)

■北海道ガーデン街道・ガーデン巡りと然別の山

●7月7日(日) 3日間

★健脚度：1~2

●現地参加料金：¥72,000(帯広空港集合・旭川空港解散)

⇒7月7日発はいずれかを実施、4名から実施、先行予約優先です。

■利尻礼文・ゆったり花と温泉の山旅 ★健脚度 2-2+

桃岩～フラワーロード、利尻島一周ドライブ・ポン山～姫沼～オタマリ沼

●7月11日(水) 3日間 ●現地参加料金：¥89,000(旭川空港集合・稚内空港解散)

⇒かつて健脚だった頃に登った利尻山。久しぶりの再訪では無理をせず、利尻一の宿・田中家に2連泊、島内一周ドライブと軽ハイキング・散歩でゆったりと島を巡ります。往きは航空券の取りにくい稚内便を避けて旭川空港から道北ドライブで中川温泉へ。翌早朝のフェリーで礼文島に渡り、桃岩からフラワーロードを歩き、利尻に渡ります。専用車ノア号で島に乗り入れるので、3度のフェリー移動も手荷物のみで楽々船旅を楽しめます。最終日には宗谷岬から猿払原野～サロベツ原野～稚内へ大周遊ドライブも加えたスペシャルプランです。①旭川空港(9:20着)＝中川温泉【ポンピラアクアリスイング泊】②＝稚内港(フェリー)香深＝桃岩登山口…△桃岩…知床(約2時間30分)＝香深(武ちゃん寿司でうに丼、各自)＝スコトン岬＝香深(14:15発フェリー)＝鷺泊【旅館田中家2連泊】③＝オタマリ沼(一周約30分)＝南浜温泉＝沓形・見返台園地(展望台往復約30分)＝④鷺泊(8:30発フェリー)稚内＝宗谷岬＝猿払原野＝ベニヤ原生花園＝稚内空港(16:30発)

◆7月の山旅：東北・花と温泉の山旅へ◆

■野反湖カモシカ平と奥志賀の山と池巡り、まが玉の丘

ノソリキスグの大群落と奥志賀の山と原始境・クロバ巨木群を巡る★健脚度：2~3

●7月16日(火) 3日間 ●現地参加料金：¥63,000(飯山駅集合・長野原草津口解散)

⇒草津温泉の北、六合村にある野反湖は周囲を大自然に囲まれ、遊覧船や観光施設も一切ない静寂の湖。カモシカ平は湖の西側の尾根からさらに西に下った所にある桃源郷で、ノソリキスグの大群落で埋め尽くされる時期に訪れます。奥志賀の山と原始境も含めた上信越花と大自然の山旅スペシャルです。①飯山駅(8:19着)＝志賀高原＝信州大学教育園…まが玉の丘コース…クロバ巨木群…勾玉の丘…長池…駐車場(約2時間)＝蓮池【志賀レークホテル泊】②＝硯川口…茨池…△志賀山…△奥志賀山…四十八池…茨池…硯川口(周遊約3時間30分)＝志賀草津高原ルート＝草津【中沢ヴィレッジ泊】③＝野反湖富士見峠…△エビ山…△高沢山…カモシカ平…三壁山…野反湖キャンプ場(約4時間50分)＝吾妻線長野原草津口駅(16:00頃着)

■山形神室岳と不忘山、南蔵王・芝草平

●7月21日(日) 3日間 ★健脚度：3

●現地参加料金：¥62,000(白石蔵王駅集合・解散)

⇒遠刈田温泉と秋保温泉をベースに、南蔵王の3名山：山形神室山、不忘山、屏風岳を効率的なコース巡りでゆとりを持って歩きます。①白石蔵王(9:04着)＝笹谷峠＝トンガリ山…△山形神室岳(往復約3時間30分)＝遠刈田温泉【かっぱの宿・旅館三治郎泊】②＝不忘山白石登山口…弘法清水…△不忘山(往復約4時間30分)＝秋保温泉【秋保グランドホテル泊】③＝おはぎ佐市＝刈田峠…△杉が峰…芝草平…△屏風岳(往復約4時間)＝白石蔵王(18:25発) *ゆったりコースは芝草平まで
△上記2コースいずれも3名から実施、定員6名。詳細は6月の山旅参照。

▼東北の山旅の中でも最も手強い岩手山と鳥海山。いずれも最良のコース、歩き方で、ゆとりを持って挑戦します。久々に歩きごたえのある山に挑みたい元気な人、グループ大募集です。ストスポットをゆったりと周遊▼
★6月13日発2日間急募！前のツアーが催行のため2名から実施。レベルに応じて健脚度2のゆったりコースも可能です。

■岩手山と姫神山、早池峰薬師岳 3日間 ★健脚度 3+~4

岩手県の最高峰をベストコースで往復、北上山地の名峰 ★健脚度 3+~4

●7月24日(水) 3日間 ●現地参加料金：¥63,000(盛岡駅集合・新花巻駅解散)

⇒しばらくご無沙汰・復活の岩手山。どこから登っても手強い山ですが、中でも一番楽な馬返しコースから往復します。平野コースでは8合目避難小屋に荷物をデポ、軽荷で頂上を往復又はお釜を一周という最も効率的な歩き方でご案内します。休暇村岩手網張温泉に2連泊して、1日たっぷり時間をかけてゆとりを持って歩きます。姫神山と早池峰山と対峙する薬師岳をプラスした歩きごたえのある岩手三山巡りの山旅です。

①盛岡駅(9:51着)＝姫神山一本杉登山口…五合目…△姫神山…こわ坂コース…こわ坂登山口(往復約8時間)＝一本杉駐車場＝網張温泉【休暇村岩手網張温泉2連泊】泊②＝馬返し登山口…二合目…七合目峠…八合目避難小屋…△岩手山薬師岳…八合目…七合目…新道…二合目…馬返し登山口＝網張温泉【泊】③＝大迫＝小田越…ヒカリゴケ…△薬師岳(往復約)＝東和温泉(入浴休憩、各自)＝新花巻駅(17:00頃着)

⇒現在1名希望あり、あと2名以上で催行決定、元気組大募集！

■鳥海山と月山、奥山寺遊仙峡探訪・天童温泉 4日間

残雪と高山植物の宝庫、ゆとりの東北の鳥海山と出羽三山の霊峰 ★健脚度 3+~4

●7月27日(土) 4日間 ●現地参加料金：¥78,000(新庄駅集合・山寺駅解散)

⇒みちのくの最高峰・鳥海山と出羽三山の霊峰・月山を巡る山旅。鳥海山麓随一の温泉リゾート/フォレスト鳥海に2連泊、最短かつ変化に富んだ碓氷川5合目からのコースを往復します。月山は姥沢からリフトを利用、お花畑コースを下ります。3泊目は天童温泉泊、奥山寺遊仙峡ミニ探検もプラス。

⇒3名から実施。鳥海山のための3日間コースも可能。

◆9月の山旅：頑張ろう東北・三陸復興国立公園、そして糸魚川も！◆

暑い夏が終わり9月半ばになると快適な山旅の季節となります。夏の暑さで疲れ果てた心身を鍛え直し、10月からの東北・紅葉のブナの山旅に備えましょう。9月の山旅の大本命は三陸の山旅2コース。百名山とも無縁なマイナーな山域ゆえ、興味を持たない人も多いのは勿体ないです。平野ガイドが開拓したコースはいずれも三陸の山旅再発見、大自然と静かに向き合え本来の山歩きを楽しめる貴重な山旅なのです。三陸の山旅3コースをまだ歩いたことのない人は、是非平野ガイドと共に歩きましょう。

■拇海新道・白鳥山と糸魚川ジオパーク、ヒスイ峡

北アルプス縦走路最北端の山と日本最大のヒスイの渓流を巡る

●9月20日(金) 3日間

★健脚度：3

*日程は6月の山旅参照

●現地参加料金：¥63,000(北陸新幹線糸魚川駅集合・解散)

◆三陸で見つけた原生林ウォークの理想郷・古の自然道を歩こう◆

■十二神森・千古の森～十二神山、兜明神岳と霞露ヶ岳

三陸の山旅その1…三陸に残されたブナ原生林、巨木の森を巡る

●9月23日(月) 3日間

★健脚度：3

*日程は6月の山旅参照

●現地参加料金：¥62,000(盛岡駅集合・新花巻駅解散)

■遠島岳と遠別岳・安家森、階上岳、種差海岸 3日間

三陸の山旅その2…日本一の白樺林と静寂のブナ原生林 ★健脚度：3

●9月26日(木) 現地参加料金: ¥63,000(八戸駅集合、盛岡駅解散)

△上記3コースいずれも3名から実施、定員6名。詳細は6月の山旅参照。

■津軽・下北半島大周遊の山旅・復活の大尽山 3日間

大尽山と縫道石山、津軽鋸岳、十三湖・亀ヶ岡縄文遺跡 ★健脚度3

●9月29日(日) 3日間 ●現地参加料金: ¥67,000(新青森駅集合・解散)

▼9月の山旅新コース▼

■伊豆の山旅その2・堂ヶ島三四郎島と達磨山 2日間

伊豆のモンサンミシェルと西伊豆スカイライン周遊 ★健脚度2

●9月17日(火) 2日間 ●現地参加料金: ¥31,000(三島駅集合・解散)

トンボロ現象で有名な堂ヶ島三四郎島。島まで歩いて渡れる季節、時間に訪れます。土肥温泉のリゾートホテルに泊まり、西伊豆スカイライン・達磨山、堂ヶ島海岸遊歩道その他、西伊豆の山と海岸周遊の山旅&ドライブ。

◆10月の山旅・世界一美しい日本の紅葉、

錦織り成す東北のブナ原生林で悠久のひととき ◆

新緑の美しい日本のブナ原生林は、オオカメノキやカエデ、コシアブラなど様々な種類の樹木が混じり、秋の季節には錦絵の紅葉の世界が広がります。このような変化に富んだ紅葉は、地球上で他の地域では決して見ることのできない日本ならではの素晴らしさといえるでしょう。日本に住む我々はこの日本の紅葉の素晴らしさを再認識して、世界一美しいブナ原生林の紅葉を堪能したいものです。平野ガイドがベストコースをご案内します。

■栗駒山(株岳)と栗駒古道・千年クロベ、御駒山

秋の栗駒山と役の行者ゆかりの古道を歩く、日本一のクロベ巨樹 ★健脚度：3

●10月3日(木) 3日間 ●¥62,000(一関駅集合、解散)

■森吉山とノロ川ブナ原生林、幸兵衛の滝&安の滝

秋の森吉山と錦秋のノロ川ブナ原生林、マタギの里から2つの滝巡り

●10月6日(日) 3日間 ★健脚度：2~2+

●現地参加料金: ¥65,000(田沢湖集合・盛岡解散)

■秋の白神山地と十二湖、岩木山黒森・巨木の森逍遙

高倉森と十二湖、クロクマの滝、岩木山随一のブナ原生林・黒森新ルート

●10月9日(水) 3日間 ★健脚度：2~3

●現地参加料金: ¥65,000(新青森駅集合・解散)

■秋の南八甲田・紅葉の赤沼と雛岳、奥入瀬~十和田湖を巡る

八甲田随一のブナ原生林を巡るゆったり山旅 ★健脚度：2~3

●10月12日(土) 3日間 ●現地参加料金: ¥65,000(新青森集合・盛岡解散)

■真昼山地・真昼ブナ原生林悠久の森と大空の滝 ゆったり山旅

真昼岳山麓のブナ指標林・手つかずの森で悠久のひととき

●10月15日(火) 2日間 ★健脚度：2~2+ *日程は6月の山旅参照

●現地参加料金: ¥43,000(盛岡駅集合・新花巻駅解散)

■秋の和賀・高下岳と真昼岳、女神山、志戸平温泉の溪流露天風呂

和賀岳周辺のブナ原生林と展望ピークを巡る

●10月17日(木) 3日間 ★健脚度：3+

●現地参加料金: ¥64,000(北上駅集合・新花巻駅解散)

■秋の裏磐梯・雄国山と雄子沢&デコ平ブナ原生林

裏磐梯五色沼周辺の原生林と深谷・紅葉の山旅 ★健脚度：3

●10月20日(日) 2日間 ●現地参加料金: ¥42,000(会津若松駅集合、解散)

■鍋倉山・巨木の森と天水山ブナの森、カヤノ平ブナ原生林

信越トレイルのブナ林ベストスポットを巡る、紅葉の山旅スペシャル

●10月22日(火) 3日間 ★健脚度：3

●現地参加料金: ¥62,000(新幹線飯山集合、越後湯沢駅解散)

■玉原高原ブナ林・鹿又山と尼ガ秀山、玉原温泉周遊

関東で一番近いブナ林、新緑の山旅2日間 ベストコースで

●10月25日(金) 2日間 ★健脚度：2~3 *日程は6月の山旅参照

●現地参加料金: ¥39,000(上越新幹線上毛高原駅集合・解散)

■秋の能登半島、鉢伏山のブナ林と石動山、気田大社

能登唯一のブナ原生林と石動山神聖の森、気多大社

●10月28日(月) 2日間 ★健脚度：2~3

●現地参加料金: ¥39,000(北陸新幹線金沢駅集合、解散)

▼能登の山旅・能登半島4つの山を巡る新コース・2回目3度目の能登の山旅に

秋の能登半島、宝達山と鉢伏山、山伏山、石動山

能登半島の山々と自然林、パワースポットを巡る秋の山旅スペシャル

●10月30日(水) 2日間 ★健脚度：2~3

●現地参加料金: ¥39,000(北陸新幹線金沢駅集合、解散)

■秋の弥彦山と国上山、岩室温泉 2日間

●11月2日(土) 2日間 ★健脚度：2~3

●現地参加料金: ¥38,000(上越新幹線燕三条駅集合、解散)

■秋の金華山・神聖の森と牡鹿半島の自然公園を巡る 2日間

三陸の山旅その3・神の宿る島、手つかずの神域を歩く

①11月4日(月) ②11月6日(水) 2日間 ★健脚度：2-3

●現地参加料金: ¥45,000(石巻駅集合・解散)

■函南原生林と伊豆細野高原・三筋山、天城越え

●11月10日(日) 2日間 ★健脚度：2

●現地参加料金: ¥29,000(三島駅集合・解散) *日程は5月の山旅参照

▼毎年一度は歩きたい奥多摩一番の自然林&自然道、晩秋の季節に▼

■秋の大マテイ山と雁ヶ腹摺山 2日間 晩秋の季節に

①11月13日(水) ②11月15日(金) 2日間 ★健脚度：2-3 *日程は6月の山旅参照

●現地参加料金: ¥28,000(上野原駅集合・解散、又は大月駅解散)

<11月の山旅新コース・平野ガイドオリジナルの周遊コースで>

1伊豆の山旅その3・秋の天城猿山と函南原生林

天城随一のブナ原生林、小僧山から猿山・兄弟ブナ広場に憩う

●11月8日(金) 2日間 ★健脚度：3+~

●現地参加料金: ¥31,000(三島駅集合・解散)

2久慈男体山と袋田の滝、月居山~鍋転山、袋田温泉

①11月20日(水) ②11月22日(金) 2日間 ★健脚度2~3

●現地参加料金: ¥35,000(水戸駅集合・解散)

⇒栃木の名山・久慈男体山を晩秋の時期に訪れます。一般コースの長い林道歩きは避けて、大円地下駐車場から最短コースで頂上へ、大円地越え経由で下る無駄のない平野流周遊コースで歩きます。袋田温泉一の宿[思い出浪漫館]に泊まり、翌日、月居山から鍋転山(男体山縦走尾根第一展望台)まで、これも袋田の滝からの急階段を避けて、月居山登山口から自然道の山道で往復。①水戸駅(9:18着)=大子町=男体山大円地地下駐車場…修験者コース…△久慈男体山天深大円地越え…駐車場(周遊約2時間)=袋田温泉【思い出浪漫館泊】②=月居山登山口…月居山…△鍋転山(往復約2時間30分)=袋田の滝(見学30分、各自)=道の駅奥久慈だいが=水戸駅(夕方着)

▽シーズンオフの足慣らしに日帰りで

3高尾山~景信山周遊：誰も歩いたことのない面白コース

●11月25日(月)~11月28日(金)の随時、日帰り、3名から実施

●現地参加料金: ¥3,000(JR高尾駅集合・解散)

⇒日本の山旅の足慣らし、トレーニングに一番人気の高尾山は、リピーターの皆さんは既に毎年のように何度もいろいろなコースを歩いていることと思います。しかし平野ガイドは裏高尾の林道に高尾山への最短ルートの入口を発見、歩く人も殆どなく、階段もなく歩きやすい山道で、頂上まで20~30分の超穴場コースです。頂上から景信山へ縦走して頂上園地でランチタイム、下山は小下沢へ下る周遊コースを作りました。下山口から出発点までは1時間ほどの長い林道と車道歩きとなりますが、平野流車回送術?で無駄な歩きをカット、これまでにない高尾山~景信山周遊、乞うご期待。

●京王高尾駅=裏高尾林道登山口…△高尾山頂上…小仏城山…小仏峠…△景信山…小仏分岐…小下沢登山口(周遊約4時間)=高尾駅(18:00頃着)

■コロミコ・トレック連絡先: ☎/FAX: 045-481-0571

平野携帯: 080-5665-9186 ✉ koromiko2@pop07.odn.ne

HP: www.koromikotrek.com 又は[コロミコ・トレック]で検索